

令和6年5月20日

長崎県農業再生協議会
会長 綾香 直芳 殿

所在地 長崎県長崎市尾上町■番●号
取組実施者名 ●●株式会社
代表者氏名 代表取締役社長 ●● ●●

令和5年度肥料価格高騰対策事業取組実施状況報告書

肥料価格高騰対策事業実施要領（令和3年12月20日付け3農産第2156号農林水産省農産局長通知）第13の2の規定に基づき、別添のとおり報告する。

（添付資料）

- ・参考様式第13-2号
- ・参考様式第14号
- ・その他農政局長等が必要と認める書類

記載例

肥料価格高騰対策事業取組実施状況報告書

第1 取組実施者名

●●株式会社 代表取締役社長 ●● ●●

参考様式13-2号の参加農業者名簿の合計を記載

第2 事業の取組概要

参加農業者数 (件)	取組面積 (ha)
【秋肥】 2 件	【秋肥】 30.0 ha
【春肥】 10 件	【春肥】 95.5 ha

各取組の化学肥料の削減効果について、農業者へ聞き取り等を行い、数値を用いて記載。

第3 取組実績

取組メニュー	取組の実績
ア 土壌診断による施肥設計	秋肥申請のうち、参加農業者●名が実施 春肥申請のうち、参加農業者●名が実施 取組の結果、化学肥料の施用量がおおむね●割削減できた。
イ 生育診断による施肥設計	〃
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入	〃
エ 堆肥の利用	〃
オ 汚泥肥料の利用（下水汚泥等）	〃
カ 食品残渣など国内資源の利用（エとオ以外）	〃
キ 有機質肥料（指定混合肥料等を含む。）の利用	〃
ク 緑肥作物の利用	〃

ケ 肥料施用量の少ない品種の利用	〃
コ 低成分肥料（単肥配合を含む。）の利用	〃
サ 可変施肥機の利用（ドローンの活用等を含む。）	〃
シ 局所施肥（側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等）の利用	〃
ス 育苗箱（ポット苗）施肥の利用	〃
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し（ア～スに係るものを除く。）	〃
ソ 地域特認技術の利用 ()	※長崎県は該当なし

(注) 参加農業者が、実施期間を通じてどのような取組を行ったか、また、その結果として、取組前と比べてどの程度の化学肥料の低減が図られたかを、使用記録等を参照し、できる限り定量的に記入してください。

第4 化学肥料の使用量の低減に向けて継続的に取り組むための取組計画

- 土壌分析点数の増加による土壌診断の強化
- 堆肥供給量の増加に向けた近隣の畜産農家や生産業者との連携
- 汚泥肥料の利用拡大推進
- 有機質肥料の安定供給
- コスト節減を意識した低価格肥料の販売量増加
- 緑肥作物の利用拡大推進
- 機械導入による施肥量の低減